

厚沢部町郷土学講座

幕末維新期の 松前藩と箱館戦争

厚沢部町町民交流センターあゆみ交流ホール

厚沢部町新町181-6

開催日程

9月29日（火）18時30分～

土方歳三の防衛戦略～考古学が読み解く二股台場～

10月13日（火）18時30分～

箱館戦争の真実～戊辰戦争の幕を引く戦闘集団の激突～

11月10日（火）18時30分～

松前藩の光と闇～正義隊クーデターに秘められた謎～

お問い合わせ

あっさぶ文化遺産調査プロジェクト

事務局担当 石井

080-6094-8439

junpei9@gmail.com

お申し込みは不要です。

広い会場を用意しました。

マスクをご用意の上、安全にご参加ください。



シリーズ

「幕末維新期の松前藩と箱館戦争」

維新期の道南は、それまで外国であった蝦夷地が日本の内に取り込まれていく大きな変革期でした。そのような大きな時代の変化の中、松前藩や旧幕府軍はどのように箱館戦争を戦ったのでしょうか？そして、その後の道南地域の命運を分けることとなる幕末維新期の松前藩の行動とは？

これまでの定説をくつがえす新説も交えて、松前藩と箱館戦争の謎にせまります。



土方歳三

戊辰戦争さなかの1868年に箱館の写真師田本研三によって撮影されたとされます。明治2年の戦闘では、二股口を担当し、新政府軍の大軍を2度にわたって退けました。5月11日の箱館総攻撃の防戦中に満35歳で戦死。

第1回 土方歳三の防衛戦略 ～考古学が読み解く二股台場～

明治2年4月、新政府軍の乙部上陸の知らせを受けた旧幕府軍は、旧大野町山中の二股に野戦陣地を構築し、徹底抗戦を行いました。土方歳三を総督とする二股口の旧幕府軍は、押し寄せる新政府の大軍を2度にわたって退け、二股口を守り抜きました。

最新の測量調査の成果とGISを活用した科学的な分析から明らかになった土方歳三の防衛戦略を解説します。

期日 9月29日（火）18時30分～19時30分
場所 厚沢部町町民交流センターあゆみ
　　交流ホール
講師 石井淳平（箱館戦争戦跡調査プロジェクト）

第2回 箱館戦争の真実 ～戊辰戦争の幕を引く精銳部隊の激突～

箱館戦争は、最新鋭のライフル銃を装備した精銳部隊同士の激突でした。圧倒的な兵力差に苦しい撤退戦を戦う旧幕府軍に対して、新政府軍もまた、一筋縄ではいかない旧幕府軍に苦しめられます。

箱館戦争の主な戦闘と両軍の戦略を膨大な史料から読み解きます。

期日 10月13日（火）18時30分～19時30分
場所 厚沢部町町民交流センターあゆみ
　　交流ホール
講師 時田太一郎氏（北斗市教育委員会学芸員）

第3回 松前藩の光と闇 ～正義隊クーデターに秘められた謎～

館城築城のきっかけとなった明治元年の正義隊クーデターの謎に迫ります。

クーデターの中心となった下国東七郎の足跡を丹念に調べ、その行動原理を探ります。謎に満ちた館城築城がどのような人物によって計画されたのか、近代道南の運命を決定づけた松前藩の内実を解き明かします。

期日 11月10日（火）18時30分～19時30分
場所 厚沢部町町民交流センターあゆみ
　　交流ホール
講師 時田太一郎氏（北斗市教育委員会学芸員）

箱館戦争戦跡調査プロジェクト

箱館戦争戦跡調査プロジェクトは、道南の考古学研究者でつくる箱館戦争遺跡専門の調査組織です。土方歳三が守った二股台場の調査をはじめ、道南各地に残る戦跡の考古学的調査を進めています。



険しい二股台場の測量調査を行うプロジェクトのメンバー。普段は史跡整備や文化財保護の業務に関わる。仕事の合間を縫って調査を続けている。

お問い合わせ

あっさぶ文化遺産調査プロジェクト
事務局 石井淳平
mail junpei9@gmail.com
電話 080-6094-8439

